



シルバー せんなん

第56号

令和元年7月発行

公益社団法人

泉南市シルバー人材センター

泉南市信達市場1584番地の4

電話(072)483-8661

令和元年度 第9回定時総会開催！



公益社団法人泉南市シルバー人材センター第9回定時総会を去る令和元年6月6日(木)に泉南市総合福祉センター「あひびあ泉南」において開催いたしました。

当日は会員466名のうち、会場出席者97名、委任状出席者283名、合計380名と広い会場にたくさんの方が集結しました。山内理事長より、日本経済の緩

やかな回復傾向の中、当センターにおいては会員数が微増となり請負事業の契約実績は目標額の101%と目標を上回る実績結果を収めることができたこと等、関係諸機関、発注者の皆さんへのお礼と今後の抱負をかねてあいさつをいたしました。

公務のためご出席いただけませんでしたでしたが、竹中勇人市長、竹田光良市議会議長よりご祝辞をいただき、来賓の紹介、祝電の披露をもって式典を終了いたしました。

来賓紹介

泉南市長寿社会推進課長

高尾 年 弥氏

祝電披露

大阪労働局職業安定部長

阪口 佳 之氏

大阪府商工労働部労働政策監

土肥 洋 子氏

公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会会長

植田 武 彦氏

植田 武 彦氏

続いて、泉南警察署交通課交通安全係より講師をお招きし「高齢者の交通安全講習」と題して交通安全講習を行いました。事故事例の紹介などを通じて交通事故を起こさない、巻き込まれないための行動を受講しました。

引き続き、議長に丸山邦明副理事長を選任し議事に入り、付議された議案に対して、全会一致で承認及び可決されました。



あ！ それ大丈夫？ 慣れと油断は事故の元

会員数(令和元年6月末日現在)男344名 女128名 合計472名

全案件は、以下の通りです。

第1号議案

平成30年度事業報告について

第2号議案

平成30年度収支決算報告について

監査報告について

第1号報告

令和元年度事業計画について

第2号報告

令和元年度収支予算書について

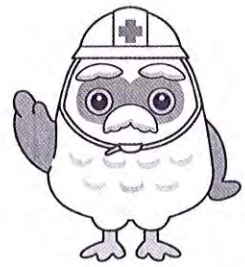
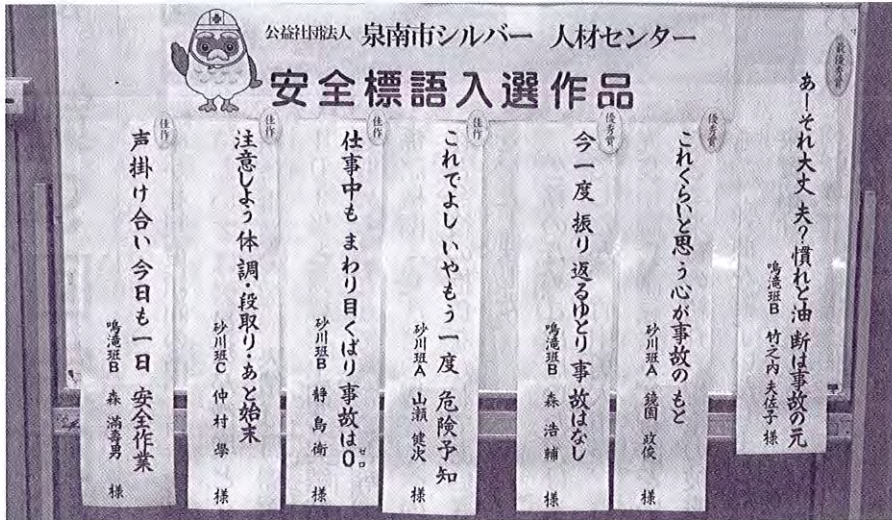
第3号報告

資金調達及び設備投資の見込みについて

第4号報告

公益社団法人泉南市シルバー人材センター
ター中期計画について

議事の終了後には、安全標語入賞作品の表彰式が行われました。各賞を受賞された会員さんには表彰状と記念品をお贈りしました。



安全標語

優秀作品が決定しました

会員の皆様にご応募いただいた安全標語について、安全就業部会での審査の結果優秀作品が決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

受賞の作品は以下の通りです

・最優秀賞

あーそれ大丈夫？慣れと油断は事故の元

鳴滝班 竹之内 夫佐子さん

・優秀賞

これくらいと思う心が事故のもと

砂川班 鏡園 政俊さん

今一度振り返るゆとり事故はなし

鳴滝班 森 浩輔さん

・佳作

これでよし いやもう一度 危険予知

砂川班 山瀬 健次さん

仕事でもまわり目くばり事故は0

砂川班 静 島衛さん

注意しよう体調・段取り・あと始末

砂川班 仲村 學さん

声掛け合い今日も一日安全作業

鳴滝班 森 満壽男さん

これくらいと 思う心が 事故のもと

会員のひろば

中国^{イーション}宜興^ンで

ちよつといい話

柳楽シェフの高級料理

新家東班 柳^な楽^ら威夫

柳楽さんの実家は、食堂を営んでいる。昭和二十年代に開業したそうだから、もう五十年以上の歴史ある老舗である。店の名は「日の丸食堂」という。大日本帝国時代に生まれた父親がつけたいらしい。その食堂で育った柳楽さん。見よう見まねで身につけたものとはいえ、料理の腕は、なかなかのものである。そんな特技を持っているとは、その時までだれも知らなかった。

1994年に設立されたYHC（宜興北海封頭有限公司）が翌年の十月に開業するまでの期間は現地社員に対する様々な研修が行われた。日本から事務部門・管理部門・営業部門・生産部門のベテラン社員が研修担当者として現地に派遣されていた。多いときは二十人を超える社員が滞在すること



があつた。食事は当然だか毎日、朝、昼、晩とも中国料理でいささか飽きてくる。派遣者の中には日本から持参したレトルト食品で済ます者も出てきた。

十二月、寒い日が続いていた。『暖かい日本食をたべたいなあ』という声が出る。そんな折の休日『よっしゃ、俺が鍋ものを作つてやる！』と柳楽さんが名乗り出た。

柳楽さんは、近くの市場に

行って、鶏肉、豆腐、椎茸、白菜、水菜、葱などの食材を買い込んだ。宿泊している翠竹楼^{スイチヨウ}には厨房室はもちろん鍋釜、コンロなど必要な機材はない。許麗さんが隣の際飯店にお願いして食事場所を含めた必要な物を借りてくれた。

その日、十人ほどの派遣者が滞在してい

た。設備は日坂さん、プレスは福永さん、溶接は宮崎さん、仕上げは貞野さんなどである。

柳楽さんは三テーブルにそれぞれ鶏の水炊きの鍋を作り、ポン酢は酢・醤油・味の素を合わせたもの。葱を刻んだ薬味、七味も用意した。

準備完了を翠竹楼^{スイチヨウ}で待っている者たちに知らせる。ぞろぞろと彼らがやってきた。『へえーい！水炊きか！』と歓声を上げる。ビールや焼酎、日本酒を飲みながら鍋をつく。

『うまい！』『久しぶりの日本食だ！』などの声。貞野さんが『柳楽さん、あなたは天才だ！』と最大の賛辞を与える。

柳楽さんは『俺、職の道、間違えたかな？』と冗談で返す。

* * *

このエッセイは、北海鉄工所から派遣され、合弁会社の設立から生産機械据付、組織編成、社員教育訓練、販売網設置、開業に至る業務に携わった仲間の現地生活でのエピソードを書いたものです。日本人と中国人との考え方の違いなどもあり、悲喜こもごもの出来事がありました。悲しかったことや苦しかったことは書いていません。

今一度 振り返るゆとり 事故はなし

札幌ぶら歩き

信達班 森 大 祐

北の大地は昨年、北海道と命名されて150年を迎えた。明治に始まる開拓使の設置は、ロシアの南下に対処するという軍事政策上からも重要で、屯田兵と集団移住者によって推し進められた。開拓に当たっては、あらゆる辛酸を乗り越えてきた開拓者魂、そして、農業土木という我が国独自の技術、それらの見事な結実が、生産量日本一の水田とともに世界に誇るべき美しい北海道の田園風景を生んだ。(北海道開拓史より)

さて、札幌の町は碁盤の目状になっていて、一区画100m。都心を東西に横切る大通り公園は約1.5キロに渡り展開され、市民の憩いの場所となっている。年間を通してイベントは多く中でも2月は雪まつり、5月のライラック祭、そして8月はビール祭等、観光客も多く楽しんでいる。又、すすきのの繁華街から北へ200m程行くと狸小路商店街が一丁目から七丁目まで通っており今は外国人客で賑わっている。

少し足を延ばしてポプラ並木で有名な北大の総合博物館に立ち寄った所、太平洋戦争についての記事が掲示されていた。それ

は昭和27年、当時の東大総長、矢内原忠雄博士が、明治初年において、日本の大学教育に二つの大きな中心があったと。一つは東京大学、一つは札幌農学校であった。この二つの学校が日本の教育における国家主義と民主主義という二大思想の源流を作ったものである。だが、札幌から発した所の人間を造るといいうりべらな教育が主流となることが出来ず東京大学に発したところの国家主義、国体論、皇室中心主義そういうものが、日本の教育の支配的な指導理念を形成した。その極み、ついに太平洋戦争を引き起こし……。と続けている。



終わりに、今年2月の雪まつりで、マイナス13℃を体験し、5月26日には、北海道の5月で記録的猛暑日、佐呂間町の39.5℃の日に、東藻琴(ひがしもこと)芝桜公園で38℃を体験した。北海道はまだまだ発展する余地が残されている所だ!

厳島神社へ

砂川班 仲 村 學

称して6人会(昔の職場仲間では今も全員が65才以上のおじさんグループ)で、毎年5月の連休後に小旅行を楽しんでいる。かれこれ10年になるが、これまで高遠城や白川郷、他に出雲大社、高知城などなどマイカーで行っていたが、もう歳も歳なので今年は鉄道・バスを利用して日本三景で知られる安芸の宮島にある厳島神社へ一泊二日の旅程で出掛けることとした。

一日目は広島城の天守閣に昇り街を眺望したが、北の方角に原爆ドームや市民球場が見え、今まで新聞や映像で見聞きしていたあの原爆投下の惨状は迎も想像できない町並みになっていて、平和であることと人々の逞しさをつくづく感じた。

その日はJR宮島口駅からほど近い安芸グランドホテルに宿泊し、翌朝8時にホテル横の栈橋からフェリーボートで宮島へ向かった。

およそ30分で島へ着いたが、船から降り立つてまず驚いたのは平日なのに観光客のあまりの多さで、至るところ人・人・人特に学生の団体が溢れるほどで、聞いてみると小学校の高学年と中学生の校外学習や修

これでよし いやもう一度 危険予知

学旅行とのこと、孫のような彼らの洗刺はつらつとした様子を見て元気が湧いてくるようだった。

かの有名な海の中に建つ大鳥居は、満潮時で近くに行くことはできなかったが、ガイドさんの説明では来月から一年かけて補修工事をするため鳥居全体にカパーが掛けられ、その間は見られなくなるとのことであつたのでいい時に来てラッキーだった。

少し進めば厳島神社があり拝観料を払って入場するとすぐ神社の回廊となる。この回廊も海の中に建てられていて、それを支える柱は海水により腐食するので何年かごとに取り替える構造となっている。釘一本使わずにこのような工事が電気も機械も

ないあの時代によくできたものだと思議に思うとともに大いに感心したことだった。

朱色を主に彩られ、寝殿造りの粋を凝らした建造物全体は荘厳華麗極まりというほかに、夜に灯りがともされると幻想的で、これが本場にこの世のものなのかと疑われかねない造りとなっている。そのうえ、清盛公をはじめ公達が舞つたであろう能舞台（立入禁止）まで設けられていて、夜な夜な宴を催しては栄華の限りを尽くしていたのだろうと当時の平家の権勢が如何に絶大であつたかと窺うかがい知るとともに、諸行無常のとおりやがて滅びゆくものの儼然さに思いを巡らせた。

やや早めの昼食だったが、どの店も混んでいて待つこと半時間、やっと入った店で銘酒加茂鶴を少々に広島らしく焼きガキと穴子丼を五感で堪能した後、神社の背後にそびえ立つ弥山に登ることにした。

ゆっくり歩いてロープウェイの乗り場まで来ると、そこにはもう学生の姿は殆どなくて今度は外国の観光客が多く見られ、改めて世界遺産であつたことを思い出した。

登るには初め6人乗りのロープウェイで約15分、途中で30人乗りのものに乗り換えるようになっていて、そこから10分足らずで山頂へ到着する。このロープウェイの中

では、さまざまな（国の）言葉が飛び交っていたが、その中でもアジア系の一団が特に賑やかで他を圧倒するほどで、文化や価値観の違いを垣間見た気がした。

山頂は360度の大パノラマになっていて、近く遠く浮かぶ島々を見晴らしたり奇岩のそばで記念写真を撮るなどして、およそ一時間過ぎたので降りて来たが、降りる途中で次々にすれ違うロープウェイでも外国人ベアの姿が多く見られた。

島内には約5時間滞在していたが、厳島を訪れるのにはこの位、じっくり見学するにはそれ以上の時間は必要だと思われる。島を離れる午後2時頃は干潮になっていて大鳥居のそばに人々が集まっているのを遠目に見ながら船に乗り込んだ。

今回の道中で何人かの外国人に声をかけたが、なかなか会話にならなかったため、もう少し英語を話せるようになって、次からはもつと長く、そしてジェスチャーも交えて話をしてみたいと思っている。

天気にも恵まれたし、広島らしさを満喫できた感動と刺激の多い旅となった。

そうそうお土産に、これまた広島名物の紅葉饅頭とカキの蒲鉾（これ絶品）を買ったことを忘れてはならない。

これからも健康で、この6人会旅行を長く続けていけたらと念じている。

仕事でも まわり目くばり 事故は0

調理講習会に参加して

一 丘 班 津 留 一 信

シルバー人材センター主催の調理講習会に参加した。久しぶりの調理場が新鮮だった。調理の仕事にたずさわっていたが、やめて10年になる。テレビの料理番組が好きでよく見る。私がやっていた料理とは違う料理で、細かい事を注意された。先生は人に教えていたので段取りがいいし、わかりやすい教え方だった。女性の方が多かったが、男性も2人いた。家庭の料理が中心で



- ・海老そぼろの彩ちらし
- ・牛乳仕立ての石狩鍋
- ・ほうれん草としめじ、京揚げのピーナッツ和え

ほうれん草としめじ、京揚げのピーナッツ和えレシピ

- 材料
ほうれん草 1/2 株 しめじ 1 袋
京揚げ 1/2 枚 ピーナッツバター
- 調味料
A. ピーナッツバター大2 醤油大2
砂糖大1 みりん大1



- 作り方
1. ほうれん草は洗って葉と芯に分ける。熱湯に塩少々入れ、芯を入れ後から葉を入れさっと湯がく。冷水に浸ける。3cm長さに切る。
- 2. 京揚げは両面をさっと焼く。3cm長さの短冊に切る。
- 3. しめじは根を切り、さばき、湯がく
- 4. Aを合わせ材料を和える

楽しかった。毎日食べても飽きない家庭の味、家族の健康を考えた料理。
日本人の食事が健康食として欧米でも評価されている。ご飯は決して太る食べ物ではない。ご飯を食べないで副食でおなかを膨らませるから肥満するのであって、米はタンパク質が豊富である。玄米だとタンパク質含量は7%を超える。ほかの穀物に比べ必須アミノ酸のリジンが多く、アミノ酸バランスは穀類の中でも断然すぐれている。玄米だけを大量に食べたら副食を食べなくてもタンパク質は十分に摂れる。

鈴木登紀子先生・94才・料理研究家がテ

レビで言っていたが、料理は作る方も楽しい、食べる方も楽しい、料理をすることが健康の秘訣、料理を自分で作るということが、食材や手順を全部自分で考える。自分で考えることは脳を使うことで、認知症予防につながると思われる。旬を大切にすれば、おのずと料理の腕はあがる。毎年旬のものを作っていれば、歳をとる程にだんだん味がよくなってくる。

料理はファッションと考えればいい。ファッションはこれでなければいけないというものではない。逆にこれであるなら、次のファッションはこういうほうが受けるじゃないかというのがある。それがファッションとしての考え方です。それを料理の世界に持ってきてみるつきり同じなんです。次々にいろんなものをアレンジできま

すから。
人間の体は、毎日いただく食べ物が形を変えたもの。健康の基本はやはり食事です。クリニックの院長も言っていたが、ご長寿の方は共通してよく食べますね。メニューも大事だが、たくさん食べることは体力や免疫力の維持につながる。私もこれから歳をとっても当たり前前の食事を作り続けることができるんじゃないか、死ぬまでちゃんと生きていくことができるんじゃないか。そう思っている。

注意しよう 体調・段取り・あと始末



春の交通安全講習会開催

令和元年「春の交通安全講習会」は5月12日(日)午前10時から、泉南自動車教習所にて開催され、28名が参加いたしました。講習会は泉南自動車教習所様のご挨拶から始められました。第1部は泉南警察交通課大給係長による交通安全についての講話でした。

最初に今年の5月初旬までの大阪府下と泉南警察管内の事故発生報告がありました。大阪府下(事故件数10,143件)、泉南警察管内(事故件数102件・死亡事故1件)。交通事故発生数の多い所は交差点。自宅から500m以内では住慣れている交通事情を知り尽くしているつもり油断から、知ってるけれども「ウツカリ」忘れてたことによる事故も多いので、特に注意が必要であると言われていました。

続いて車運転の三要素についての講話がありました。「1. 認知すること 2. 判断すること 3. 操作すること」と言われておりますが、もう一つ加えたいことがあります。「予測すること」が不可欠で、「認知する」「予測する」「判断する」「操作する」を習慣づけて欲しいと強調されました。また運転者の注意事項として、錯覚による認知ミス、運転者の性格(イラチ、短気、自己中心)など、自分の性格が把握できてなく起きるトラブル。精神状況(モメごと、不安ごと、体調)などこれらに起因する事故もあるの

で注意して欲しいと言われました。

次に「ドライバー心理から考える安全運転」ドライバーの心理から考える事故回避について交差点での右折時の確認事項として「1. 対向車の後方の車等の有無 2. 横断歩道の歩行者の有無」などをすべてを同時に確認は困難であり、時間差をつけて確認することが大切で一点集中ではだめで、多点確認することと忘れないで欲しいとのことでした。また「一旦停止」は完全に停車し、左右の通行確認をすることを是非実行するように強調されました。

第2部は自動車教習所コースでの運転実習が行われました。

今回の課題は1. 急ブレーキによる目標停止 2. 旗あげ指示による「緊急回避措置」3. 車両感覚について道路左側、路肩から約1メートル程に引かれた長さ約30メートル程度の白線を車の左側タイヤが脱輪しないように走行する。またS字・クランクコースでの脱輪の有無確認。4. 運転中の死角と危険では駐車車両の側方通行時、駐車車両のドア開きの危険横断歩道での自転車の飛び出しの危険。5. 時速30km/hで走行中に急ブレーキを掛け目標のコーン手前1m以内に停車させる。どれくらいの距離で停車できるかの体験をしました。

約2時間の高齢者の安全運転講習会でしたが、最近、高齢者が関わった交通事故多発しており、安全運転するため、分かっていることも、忘れてるが多いことが判り自分の行動を見直す貴重な勉強会となりました。

声掛け合い 今日も一日 安全作業

家庭でできる 食中毒予防の6つのポイント

point 1
食品の購入

寄り道しないで
まっすぐ帰ろう

消費期限などの
表示をチェック!

肉・魚はそれぞれ
分けて包む

できれば
保冷剤(氷)
などと一緒に

point 2
家庭での保存

帰ったらすぐ冷蔵庫へ!

入れるのは7割程度に

肉・魚は汁が
もれないように
包んで保存

冷蔵庫は
10℃以下に
維持

冷凍庫は
-15℃以下に
維持

停電中に庫内温度に
影響を与える扉の
開閉は控えましょう

point 3
下準備

冷凍食品の
解凍は
冷蔵庫で

タオルやふきんは
清潔なものに交換

ゴミはこまめに
捨てる

こまめに
手を洗う

肉・魚を
切ったら洗って
熱湯をかけておく

井戸水を使っていたら
水質に注意

肉・魚は生で食べる
ものから離す

野菜も
よく洗う

包丁などの器具、
ふきんは洗って消毒

point 4
調理

加熱は十分に
(めやすは中心部分の
温度が75℃で1分以上)

台所は
清潔に

作業前に
手を洗う

電子レンジを使う
ときは均一に
加熱されるようにする

調理を途中で
止めたら
食品は冷蔵庫へ

point 5
食事

食事の前に
手を洗う

盛り付けは
清潔な器具、
食器を使う

長時間室温に
放置しない

point 6
残った食品

時間が経ち過ぎたり
ちょっとでも怪しいと思ったら、
思い切って捨てる

作業前に
手を洗う

手洗い後、
清潔な器具、
容器で保存

温めなおすときは
十分に加熱する
(めやすは75℃以上)

早く冷えるように
小分けする

食中毒予防の3原則 食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」

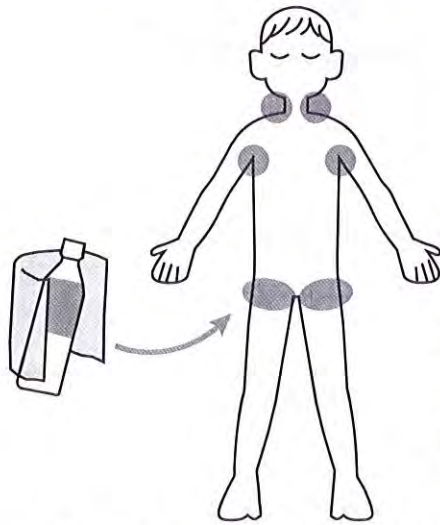
厚生労働省

熱中症 水分補給し防いで

汁物・野菜・果物…食事も重要

各地で梅雨入りし、今後暑さが本格化していくと多発するのが熱中症だ。死に至ることもあるが、「予防策をとれば、発症や重症化を防げる」と専門家は強調する。

「災害級の猛暑」に見舞われた昨年、人口動態統計（速報）によると熱中症で1500人超が死亡。総務省消防庁によると5～9月に熱中症で救急搬送された人は9万5137人で、例年の2倍近くに上った。今年の搬送車は6月9日時点で昨年同期の約1.5倍に上っていて、さらに注意が必要だ。



熱中症の応急処置
どこを冷やす？

- ▷ 両側の首筋、わきの下、足の付け根の全面などを集中的に
- ▷ 保冷剤や冷えたペットボトル、かち割り氷などをタオルでくるんであてる
- ▷ 冷やした経口補水液などを飲ませる
- ▷ ぬれタオルを体にあて、扇風機やうちわで風を当て、水を蒸発させて冷やす
- ▷ 市販のジェルタイプのシートを額に張るのは、熱中症の治療にはむかない

環境省の熱中症環境保健マニュアルから

今年の搬送者のうち65才以上の高齢者が48%を占めた。兵庫医科大学の服部益治特別招聘教授（小児科）は「背景に脱水症がある」という。体の水分は主に筋肉に貯蔵されるため、筋肉の少ない高齢者は脱水症に陥りやすい。成人では体重の6割を占める水分が、高齢者は5割ほど。「高齢者は元々、脱水気味で生活している。汗をかけば、すぐ熱中症になってしまう」

暑さやのどの渴きを感じにくくなっていくのも特徴。のどが渴いていなくても、こまめに水分を補給する。服部さんは「搬

送されて命が助かって、腎臓や肝臓が傷ついて後遺症が残る人も多くする。命に関係する病気だという意識を持たないといけない」と警鐘を鳴らす。

高齢者と同様に熱中症のリスクが高いのが子どもだ。環境省の熱中症マニュアルによると、思春期前は汗腺などの体温調節能力が未発達で、体温が大人より大きく上昇してしまう。顔が赤くなったりひどく汗をかいたりしていないか、大人が十分観察するよう呼びかける。

一方、食事をきちんとすることが予防につながる。文教大健康栄養学部の目加田優子准教授は指摘する。環境省の資料によると、体重70kgの人が通常の生活で一日に摂取する水分は約2.5リットル。このうち食事から1リットルを得ている。「食事を抜いたり、サプリメントで済ませたりするのは、水分補給のタイミングを失っているのと同じこと」

トマトやキュウリなど夏野菜は、水分を効果的にとれる。汁物のほか、果物や牛乳と一緒にとることも水分を補える。「食事を抜くと体調不良となり熱中症にもつながりやすくなる。少量でも決まった時間に食べ、体内リズムを守ることが大事です」

（中村靖三郎）

2019年6月14日（金）朝日新聞より

◇お気軽にお電話を◇

軽作業	清掃・除草・ビラ配り 各種屋内、屋外作業・その他軽作業
施設管理	公園、テニスコート、駐輪場・カート回収等の管理
事務	一般事務・宛名書き・毛筆賞状書き
園芸	庭木の剪定・施肥・庭の清掃
修理・修繕	トタン・波板の張り替え・ペンキ塗り・その他小修理
家事・福祉サービス	家事手伝い・食事の仕度・その他家事サービス 老人介護補助・病人看護補助

★臨時的・短期的な仕事は〈シルバー人材センター〉にご相談下さい。

TEL (072) 483-8661

配分金支払日

11月分	1月6日(月)
10月分	12月2日(月)
9月分	11月1日(金)
8月分	10月1日(火)
7月分	9月2日(月)
6月分	8月1日(木)

同好会紹介

- ・ゴルフ同好会「青空会」
老いても元気なゴルフ同好会のメンバーです。是非参加いただき楽しく遊びましょう。
▽年4回定例コンペ
- ・ハイキング同好会
毎月20名近くで楽しく近隣〜兵庫まで色々な山や観光地にハイキングしております。
▽毎月 第2土曜日(7、8月は除く)
- ・カラオケ同好会「ひばり会」
13時〜17時まで開催しておりますので、老いも若きも参加してください。
▽毎月 第2日曜日

会員の原稿募集

シルバー人材センターでは、年に二回の予定で会報を発行しています。次のような内容の原稿を「原稿用紙(四〇〇字詰)一〜二枚程度で」お寄せください。

- ①会員として、働く喜び、生きがい等の自己体験等
 - ②随筆、短歌、俳句、川柳等
 - ③趣味の写真等
- 原稿の締め切り日 令和元年十月末日又、「シルバーせんなん」に望む声を事務所までお寄せ下さいますようお願いいたします。

編集後記

5月1日(水) 午前0時、令和元年が幕開け、平成の時代は初昔と変わり、この31年間の出来事はすべてが思い出となりました。

この度の改元は天皇陛下の退位に伴うことで、崩御とは関わりがなく新しい時代は喜ばしく明るい雰囲気での幕開けでした。

(公社) 泉南市シルバー人材センターは「昭和」・「平成」・「令和」と時代を重ねることになりました。6月6日(木)には第9回定時総会が開催され、山内理事長から令和を迎えた喜びと新しい時代への取り組みと期待についての挨拶がありました。

今回の総会では安全標語に応募された優秀作の紹介と表彰が行われました。素晴らしい標語が、当シルバー人材センターの安全活動のスローガンとして使われることになりました。「事故ゼロ」の活動に寄与できると確信しています。

新しい元号の令和はまだ書き慣れていませんが、新しい時代に希望と幸福を求めている夢を描いておられると察します。平和で安心できる社会が続いて欲しいと願っています。

最後に「シルバーせんなん」も令和の時代を迎え会員皆さまからのご寄稿をいただき充実した誌面づくりに努力いたしました。ご支援ご協力をお願い申し上げます。

編集部 高岡

事故防止 急ぐな あせるな 気を抜くな (全国統一スローガン)